

豊島区の教育について

豊島区教育委員会の教育目標

豊島区教育委員会は、幼児・児童・生徒（以下「子供たち」という）が知性、感性、道徳心や体力を育み、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 地域社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造性豊かな人間

の育成に向けた教育を重視する。

また、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を担い、豊かな環境の中で、子供たちが、生涯にわたって主体的に文化やスポーツに親しむことができる人間として成長するよう関係機関との一層の連携を図る。

さらに、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが連携して行わなければならないものであるとの認識に立って、すべての区民が教育に参加することを目指していく。

（令和元年12月豊島区教育委員会決定）

豊島区教育ビジョン2019

豊島区教育委員会は、「教育都市としま」のさらなる発展に向けて、令和元年9月に「豊島区教育ビジョン2019」を策定し、目指す目標を『過去に学び、現在を生き抜き、夢と志を持って歩むとしまの子』としました。

夢に向かい未来を拓いていくためには、先人の知恵を学び、困難を乗り越えていく勇気や力をもつことが大切です。また、子供が学校・家庭・社会の構成員の一人として尊重され、自己肯定感を育んでいくことも重要です。

豊島区は「豊島区子どもの権利に関する条例」に基づき、「子供の最善の利益」を保障し、子供の思いや意見を聞いて尊重する教育を推進しています。特に重要なのが「子供に聴いて子供と共に考えて決めること」の観点です。

この目標は、こうした観点を尊重し、新しい時代を切り拓く豊島の子供の育成と発展を目指すものです。

〈目指す目標〉

過去に学び、
現在を生き抜き、
夢と志を持って歩む
としまの子

生きる力の土台を育む

子供の「知」「徳」「体」を育む

学校・家庭・地域が連携・協力して子供を育てる

7つの基本方針

- 1 生きる力の土台となる就学前教育の充実
- 2 確かな学力の育成
- 3 豊かな心の育成
- 4 健やかな体の育成
- 5 一人一人を大切にする教育の推進
- 6 教師力の向上と魅力ある学校づくり
- 7 家庭と地域の教育力の向上

1 生きる力の土台となる就学前教育の充実

幼児期から人と関わる力や生活する力、学ぶ力を培うとともに、基本的な生活習慣の形成や規範意識の芽生えが育まれるようにしていくことが大切です。区立幼稚園では幼児一人一人の特性に応じた就学前教育及び、育ちと学びの連続性を意識した教育を行っています。

〔主な取組〕

①生涯にわたる人格形成の基礎を培う教育・保育の提供

保幼小（保育園・幼稚園・小学校）連携の推進／区立幼稚園の預かり保育の実施など子育て支援サービスの充実

②就学前から小学校・中学校への円滑な接続

アプローチ・スタートカリキュラムを活用した保育・教育の充実／小中（小学校・中学校）連携の推進



豊島区アプローチ・スタートカリキュラム(改訂版)

2 確かな学力の育成

「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら学習を進め、身に付いた基礎的・基本的な知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力などを育みます。また、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし、多様な人々との協働を促す教育を進めています。

〔主な取組〕

①学びの基礎・基本の徹底

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着（タブレットPCを活用した授業の推進、習熟度別・少人数学習の実施）／地域の教育力を生かした教育活動の充実

②学びの応用力の伸長

「主体的・対話的で深い学び」の授業の推進（問題解決的、探究的な学習活動を取り入れた授業展開）／学校図書館を活用した教育の充実／グローバル化に対応した教育の充実（国際理解教育の推進、外国語科・外国語活動の充実）／情報化に対応した教育の充実（情報活用能力の育成）／自分の未来を切り拓く力を育むキャリア教育の充実（キャリア・パスポートの活用、職場体験の実施）



学習情報センターを活用した授業



ネイティブスピーカーと英語でコミュニケーションをとる授業

SDGs 達成に向けた取組を実践し、持続可能な社会の形成者の育成を目指します

文化・環境・防災など、区民活動の拠点である最新の施設での体験を通して、「豊島区」に対する愛着や誇りを持てるようにしています。



豊島区立トキワ荘マンガミュージアム



としまみどりの防災公園(イケ・サンパーク)

3 豊かな心の育成

子供を取り巻く環境の変化に伴い、子供たちには、規範意識を身に付けさせるとともに、自尊感情、他者への思いやり、生命尊重・公共の精神を養うことが求められています。さまざまな体験活動を通して、自己肯定感を高め、人と人が繋がる心を育てています。

【主な取組】

①豊かな心と規範意識の育成

道徳教育の充実／情報モラル教育の実施（SNSルールの策定と実践）／人権教育の推進／持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組の推進

②豊かな人間関係を育む体験活動

自然体験活動（小学校・中学校における移動教室や校外学習）の実施／地域でのボランティア活動の推進

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)

2015年9月に開催された国連サミットで採択された2030年を年限とする17の国際目標。地球上の誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決しようとするものです。

豊島区は、2020年7月、SDGsへの優れた取組を行う自治体として「SDGs未来都市」に選定されました。

その中で、特に先導的な取組として「自治体SDGsモデル事業」にもダブルで選定されました。



持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組に関する授業

4 健やかな体の育成

子供たちの心身の調和のとれた発達を図り、健やかな心と体を育むことは、「知・徳・体」の調和の取れた人間を育成する基盤となります。体力向上や、健康・安全に対する正しい知識の習得に向けて取り組み、子供たちが、生涯にわたり主体的に健康を保持・増進できる資質・能力を育てています。

【主な取組】

①生涯を通じてたくましく生きるための体力づくり

子供の実態に応じた体力向上の推進

②健康で充実した生活を送るための健康づくり

がん教育の推進／歯と口腔の健康づくりの推進／食育指導の充実



休み時間を活用して運動に親しむ



がん教育の授業

5 一人一人を大切にする教育の推進

子供たちが、自らの夢に可能性を広げて自己実現を図るとともに、社会参加できる力を育てていくことが大切です。子供は、学習の習熟度や障害の状況など、個々により異なります。また、教育的支援を必要とする外国人児童・生徒や帰国児童・生徒に対して、受け入れ体制の整備や日本語指導等の支援の充実を行っています。

【主な取組】

①特別支援教育の充実

教育相談や就学相談を活用したきめ細やかな支援／特別支援教育巡回相談（チームステップ）による学校支援

②個の成長を支える教育の充実

スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー事業の活用／学校サポートチームによる支援の充実

③いじめ・不登校対策の充実

「豊島区いじめ防止対策推進条例」「豊島区いじめ防止対策推進基本方針」に基づくいじめ防止対策の一層の推進／心理検査の実施／柚子の木教室（適応指導教室）の充実

④多文化共生の推進

異文化理解の推進／日本語学級・日本語指導教室の充実



特別支援学級における授業



地域と連携した防災訓練の様子

6 教師力の向上と魅力ある学校づくり

広く社会で尊敬され、信頼される教員を目指して、子供たちと正面から向き合う高い志をもつ教員を育成していきます。また、教員一人一人の心身の健康保持を実現し、誇りとやりがいをもって職務に従事することにより、学校教育の質の維持向上につなげていきます。

【主な取組】

①授業改善に資する研究・研修の推進

「豊島区研究開発指定校」における研究成果を各校で活用

②学校経営改革の推進

「豊島区学校における働き方改革の推進」による教育の質的向上

③安全安心な学校づくり

地域と連携した防災訓練の推進／安全指導の充実／薬物乱用防止教育の推進



子どもスキップの様子

7 家庭と地域の教育力の向上

幼児・児童・生徒は、家庭で、学校でそして地域に学び、地域で育ちます。地域には、行政機関、PTA、NPO・民間団体、企業、大学、各種団体など、様々な組織があるほか、ボランティア活動等に関わる個人の方も多くいます。地域全体で子供たちの成長を支え、関わりの中で、相互に支え合い学び合う活動に区立学校・幼稚園も積極的に連携しています。

【主な取組】

①家庭教育の支援

相談事業の充実／子どもスキップ・学童クラブ事業の充実／放課後事業の充実

②地域と学校の連携・協働の仕組みづくり

コミュニティ・スクールの導入／学校運営連絡協議会の充実／土曜公開授業をはじめとした学校公開の実施／インターナショナルセーフスクール活動による地域ネットワークの構築

③地域教育力との連携

地域住民との交流機会の充実／区内の大学や企業との教育連携